取扱説明書

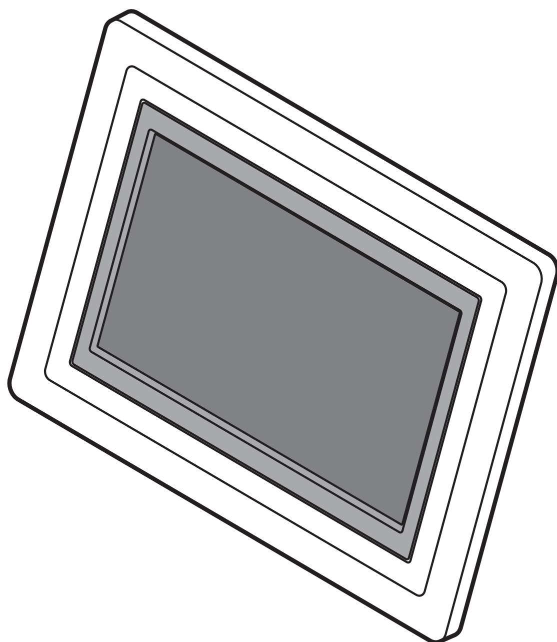
SANYO

デジタルフォトフレーム

品番 LVT-PF70

保証書付 裏表紙にあります

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は保証書付になっています。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。



MP3
MPEG AUDIO

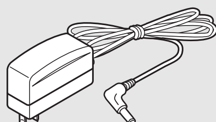


取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の(　)内の記号が色記号です。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

付属品をお確かめください。



電源アダプター 1
（コード長約1.7m）

本書（取扱説明書・保証書付） 1

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

 の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
 の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
 の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

 **警告**

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源ボタンで電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする(異常状態)**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **映像や音が出ないなど(故障状態)**
- **倒したり落としたりして、キャビネットを破損した**





電源アダプターを抜く



 警告

電源について

■ 電源アダプター接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源アダプターはコンセントへ確実に接続する
- 電源アダプターのコードは束ねたまま使用しない
- たこ足配線はしない

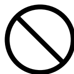




■ 電源アダプターのコードを傷つけない

無理な使いかたをすると電源アダプターのコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源アダプターのコードの上に重いものを乗せる
- 途中でつぎ足したりして加工する
- 無理に折り曲げる
- 傷をつける
- ねじったり、引っ張ったりする
- 熱器具に近づける



禁　止



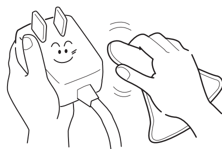
電源アダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源アダプターの間にホコリが付着していないか、電源アダプターのコードに傷みがないか、電源アダプターが抜けかけていないかなどを点検してください。



指　示

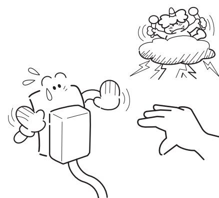


■ 雷が鳴り出したら

電源アダプターには絶対に触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止



使用方法・設置

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

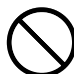


分解禁止

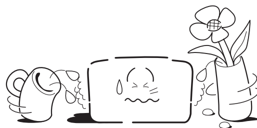


■ 本機の周りに水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



禁　止



■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。



水ぬれ禁止

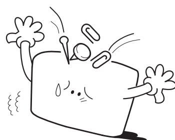


 警告

■ 異物を入れない

SDカードスロットなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

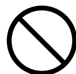

禁 止



■ 布をかぶせない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本機を逆さまにする
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く


禁 止



■ 本機背面の熱に注意


指 示

ひざの上など、人体の表面に本機の背面を密着させないようにご使用ください。
背面は多少熱くなりますので服の上からでも長時間密着されていますと低温やけどの恐れがあります。

■ 壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。
ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。


禁 止



 注意

■ 電源アダプターを抜くときの注意


ぬれ手禁止


電源アダプターを抜く

- ぬれた手で電源アダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプターを抜くときは、アダプター、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意


禁 止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

 注意

■ 本機を不安定な場所に置かない


禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、破損・故障・けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない


禁　止

倒れたり、落下して、破損・故障・けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意


電源アダプターを抜く

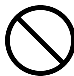
SDカードを取り出して電源を切り、外部接続をすべてはずしてからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ ヘッドホンの音量に注意



音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意



禁　止

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない


禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけないでください。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近付けない


禁　止

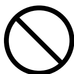
本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間（1ヶ月以上）使用しない場合やお手入れの際の注意


電源アダプターを抜く

安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。

■ 液晶画面を長時間連続して見ない


禁　止

液晶画面を長時間連続して見ると、目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。液晶画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じた場合は、すぐに本機の使用をやめて休息してください。休息しても不快感や痛みがとれない場合は、ただちに医師に相談してください。

■ 液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えない


禁　止

液晶画面が割れた場合は、画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。

- 万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり皮膚に付着した場合は、すぐにきれいな水で充分に洗い流し、医師に相談してください。

使用上のお願い

- 再生中に近くのAV機器の画像や音声に悪影響が出ることがあります。その場合は、AV機器から離して設置してください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色など塗装の劣化につながります。
- 長い時間ご使用になると背面が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは、SDカードを取り出し、電源を切ってください。

液晶画面について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端技術でもなくすことは困難ですのでご了承ください。

著作権について

- 放送やMD、DVD、CD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらからコピーした録音物を売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。また、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）におたずねください。

  JASRAC本部：TEL.　03-3481-2121
  FAX.　03-3481-2150
  URL　http://www.jasrac.or.jp/

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合による再生の失敗および記録内容（データ）の損失を防ぐために、**再生中は絶対にSDカード、電源プラグを抜かないでください。**
本機の使用中および落下や衝撃が原因での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本機のお手入れについて

■ 警告

安全のために、お手入れの前には必ず以下をおこなってください。

- 電源アダプターを本機からはずしてください。
- **電源**ボタンで電源を切ってください。

■ キャビネットやディスプレイの汚れ

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーなどは使用しないでください。変色など塗装の劣化の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

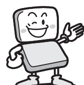
お使いになる前に

再生できるSDカード

本機では以下のSDカードが再生できます。

	マーク（ロゴ）	容量
SDカード		16MB～2GB

- MMC（マルチメディアカード）は動作保証いたしておりません。
- miniSDカード、microSDカードを本機で利用するときは、変換アダプタ（市販品）が必要です。
- SDカード/miniSD™カードはSDアソシエーションの登録商標です。
- SDHC（4GB）以上の カードは利用できません。
- SDロゴは登録商標です。

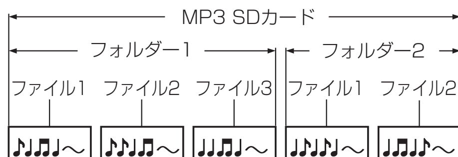


ちょっとこれを！

- SDカードでは、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないSDカードがあります。

MP3について

MP3とは、MPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。



JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

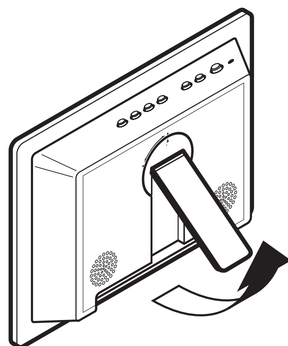
この取扱説明書の内容について

- 性能や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

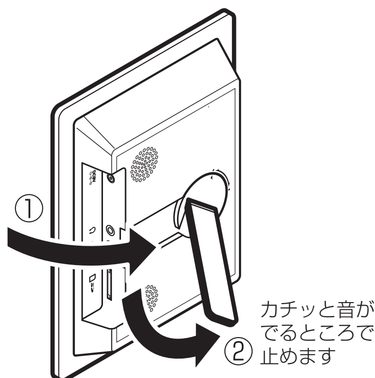
スタンドを使用する

本機を使用するときは、背面のスタンドを使って設置します。

■ 本機を横向きに設置する場合



■ 本機を縦向きに設置する場合



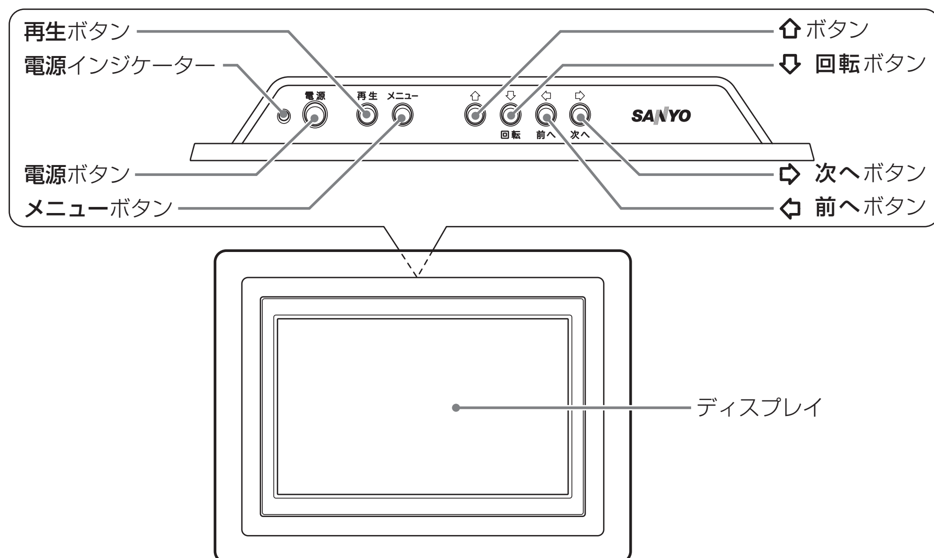
ご注意

- スタンドの取り扱いにご注意ください。
  無理な力を加えないでください。破損や故障の原因となります。
- 縦向きに設置する場合でも、メニュー画面やその他の全ての画面は横表示で設定されています。

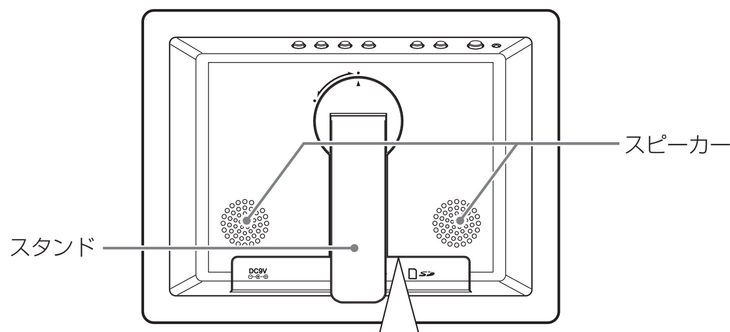
各部のなまえ

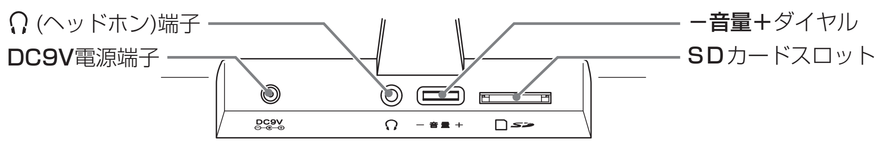
● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

前　面

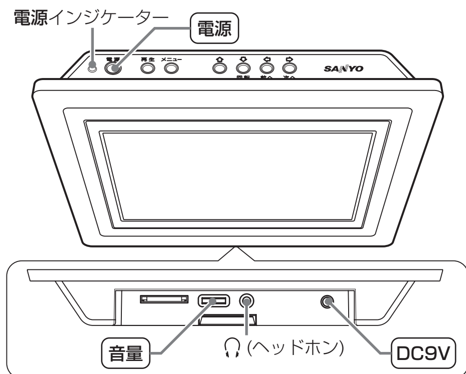


背　面



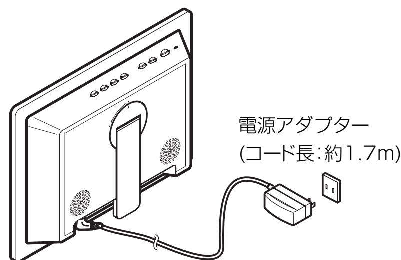


電源と準備



電源アダプターの接続

電源アダプターのプラグを本体背側面にあるDC9V電源端子に接続し、電源アダプターをコンセントに差し込む



- 電源アダプターを抜き差しするときは、**電源**ボタンで電源を切ってからおこなってください。故障の原因となります。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

電源を入/切する

電源ボタンを押す



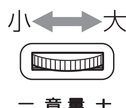
- 本体上面の**電源**インジケーターが点灯します。

もう一度押すと電源が切れる

- 上面の**電源**インジケーターが消灯します。
- 液晶の特性により、ディスプレイにしばらく残像や横線があらわれる場合がありますが、故障ではありません。(数分間放置すると消えます。)

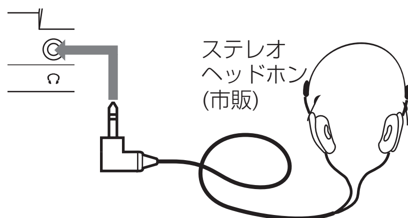
音量を調節する

背面の－音量＋ダイヤルで調節する



ヘッドホンで聞く

背面の (ヘッドホン)端子に接続する



- ミニプラグ(φ3.5)付のステレオヘッドホンをご用意ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

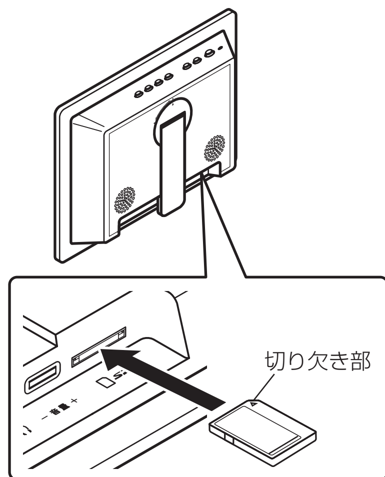
- ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないようにしてください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

SDカードを再生する前に

SDカードを挿入する

ラベル面を上にして、カチッと音がするまでしっかりとSDカードスロットに差し込みます。

- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、変換アダプタ（市販品）を装着し、変換アダプタごと挿入してください。



データ（JPEG P12 、MP3 P18 ）の再生のしかたについては各説明ページをご覧ください。

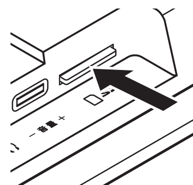
SDカードを取り出す

ご注意

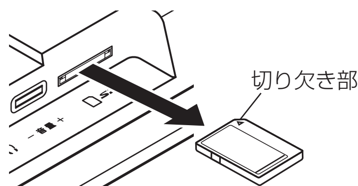
- ＳＤカードのロード中、再生中または動作終了直後にSDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
- 取り出すときは停止中か、電源が切れたあとでSDカードを取り出してください。

1 SDカードの中央部を押す

カチッと音がすると、ロックが解除されＳＤカードが押し出されます。



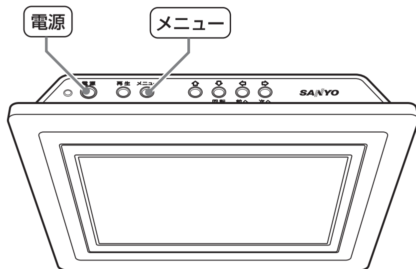
2 SDカードを引き抜く



準備

SDカードや本体メモリーの画像データを再生する

ＳＤカードに画像データとして記録されているJPEG形式の画像ファイル（JPEGファイル）を再生することができます。



JPEGファイルについて

- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.jpeg」、「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。
- ファイル構成により、JPEGファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- ファイル名は半角英数字と“_”（アンダースコア）、“－”（ハイフン）で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。（日本語は表示されません）
- 読み込み可能なファイル数は一つのフォルダーに最大648ファイルまで対応しています。ただし、読み込み可能なファイル数はライタソフトやデータの容量により異なることがあります。また、フォルダ構造によって全てのファイルが認識できない場合があります。
- 読み込み可能なフォルダー数は299までの対応です。300を超えるフォルダーは再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きい場合は、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。
- 画像の解像度は8964×6722まで表示可能です。
- SDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により再生できないこともあります。
- Motion JPEGなどのファイルは再生できません。

SDカードの画像データを再生する

この操作はSDカードの画像データ（JPEGファイル）を再生するときの基本操作です。

1 電源ボタンを押して電源を入れる P10

ディスプレイにメニュー画面が表示されます。

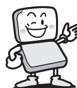


- 本体メモリーに画像データが保存されている場合やSDカード（画像データ入り）が挿入されている場合は、数秒間メニュー画面を表示した後、自動的にスライドショー再生が始まります。

2 SDカードを入れる P11

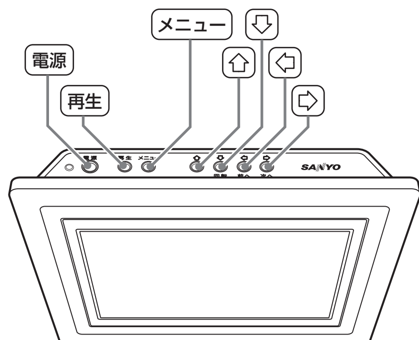
ディスプレイに「SD　写真」を表示した後、最初の画像から順にスライドショー再生します。

- 最後の画像ファイルの再生が終わると自動的に最初の画像に戻り、くり返しスライドショー再生します。
- 全フォルダー内の全ての画像ファイルを再生します。



ちょっとこれを！

- 画像データにより、画像の回りや上下あるいは左右に黒い帯があらわれる場合がありますが、故障ではありません。



本体メモリーの画像データを再生する

本体メモリーに保存されている画像データを再生します。

ご注意

- **あらかじめSDカード内の画像データを、本体メモリーに保存しておいてください。** P15、16

電源ボタンを押して電源を入れる P10

ディスプレイに「本体メモリー」を表示した後、最初の画像から順にスライドショー再生します。



- SDカード(画像データ入り)が挿入されている場合は、SDカード内の画像データのスライドショー再生が始まります。そのときは、**メニュー**ボタンを押してメニュー画面を表示させた後、**SDカードを取り出してください。**
- 最後の画像ファイルの再生が終わると自動的に最初の画像に戻り、くり返しスライドショー再生します。

スライドショー再生を途中で止める

再生ボタンを押す

スライドショー再生が停止し、サムネイル(縮小画像一覧)が表示されます。



- 選択中の画像ファイルの解像度、ファイル名が表示されます。
  ただし、本体メモリー内の画像データ表示中は、解像度、ファイル名は表示されません。
- 高解像度の画像データがある場合、サムネイルの表示に時間がかかる場合があります。

再びスライドショー再生を始めるには

⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンを押して見たい画像を選び、**再生**ボタンを押します。

- ⇧ / ⇩ :前または次のページへ移動
  ⇦ **前へ**/⇨ **次へ** :前または次のファイルへ移動

一時停止する

スライドショー再生中に、⇧ ボタンを押す

再生中の画像が一時停止します。

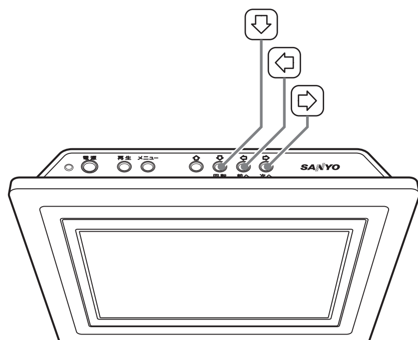
通常のスライドショー再生に戻すときは

再生ボタンを押してサムネイル画面を表示させた後、もう一度**再生**ボタンを押します。

ご注意

- 「写真/音楽同時再生」 P24 が「オン」のときは、スライドショー再生は一時停止しますが、音楽再生はそのまま続きます。(SDカードの画像データの再生時のみ)

SDカードや本体メモリーの画像データを再生する



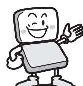
画像を切り換える(スキップ)

次のファイルへ進むには

スライドショー再生または一時停止中に、⇨ **次へ**ボタンを押します。
ディスプレイに「 ▶▶I 」が表示され、次のファイルを再生します。

前のファイルへ戻るには

スライドショー再生または一時停止中に、⇦ **前へ**ボタンを押します。
ディスプレイに「 I◀◀ 」が表示され、再生中のファイルの1つ前のファイルを再生します。



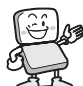
ちょっとこれを！

- 一時停止中の場合は、次あるいは前のファイルの再生となっても、再び一時停止状態となります。P13

画像を回転する

スライドショー再生または一時停止中に ⇩ 回転ボタンを押す

ディスプレイに「回転」が表示され、押すたびに、画像が時計回りに90°回転します。



ちょっとこれを！

- 画像を回転中は、自動的に一時停止状態になります。
- **本体メモリーに保存されている画像データの再生中は、画像を回転させることはできません。**

画像データの編集

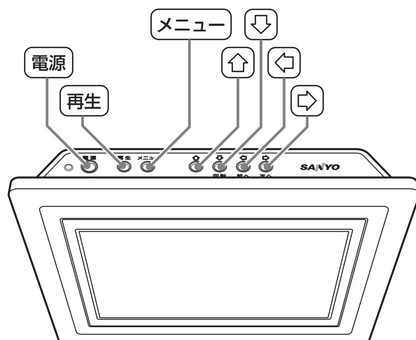
つづく

SDカード内の画像データを本体メモリーへコピーする

SDカード内の画像データを本体メモリーに保存することができます。SDカードを挿入することなく、いつでも保存した画像データを表示(スライドショー再生)させることができます。
最大20枚まで保存できます。

ご注意

- **本体メモリーには、SDカード内のMP3形式の音楽ファイルをコピーできません。**



1 電源ボタンを押して電源を入れる P10

ディスプレイにメニュー画面が表示されます。



- 本体メモリーに画像データが保存されている場合やSDカード(画像データ入り)が挿入されている場合は、数秒間メニュー画面を表示した後、自動的にスライドショー再生が始まります。そのときは、**メニュー**ボタンを押してメニュー画面を表示させてください。

2 SDカードを入れる P11

ディスプレイに「SD　写真」を表示した後、最初の画像から順にスライドショー再生します。

3 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



4 ⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンを押して「編集」を選ぶ

ディスプレイに「SD　編集」が表示されます。



5 再生ボタンを押す

編集画面が表示され、サムネイル(縮小画像一覧)と「コピー」が表示されます。



画像ファイル総数　ファイル名
ファイル番号　画像解像度

- 挿入したSDカード内に画像データが無い場合は、「画像データがありません」と表示されます。

写真 編集

画像データの編集

6 ⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押してコピーする画像を選ぶ

⇧/⇩ :前または次のページへ移動

⇦ 前へ/⇨ 次へ :前または次のファイルへ移動

7 再生ボタンを押す

コピー確認画面(「コピーしますか?」)が表示されます。



● コピーを中止するには、「いいえ」が選ばれているのを確認し、**再生**ボタンを押します。

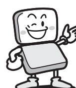
8 ⇦ ボタンを押して「はい」を選び、再生ボタンを押す

「コピー中です XX/20」を表示し、選択した画像を本体メモリーに保存します。

● メモリーが一杯の場合は、「コピーできません メモリーが一杯です」と表示されます。不要な画像データを削除してください。右記

9 他の画像をコピーする場合は、手順6~8を繰り返す

● コピーを終える場合は、**メニュー**ボタンを押して編集画面を消します。

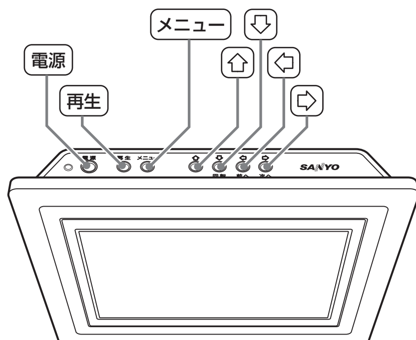


ちょっとこれを!

● 本体メモリーに画像データをコピーすると、解像度が落ち、画像が粗くなる場合があります。

● 本体メモリー内の画像データは、SDカードにコピーできません。

● 本体メモリーには、SDカード内のMP3形式の音楽ファイルをコピーできません。



本体メモリー内の画像データを削除する

本体メモリー内に保存した、不要な画像データを削除することができます。

1 電源ボタンを押して電源を入れる P10

数秒間メニュー画面を表示した後、本体メモリー内に保存された最初の画像から順にスライドショー再生します。

● SDカード(画像データ入り)が挿入されている場合は、SDカード内の画像データのスライドショー再生が始まります。そのときは、**メニュー**ボタンを押してメニュー画面を表示させた後、**SDカードを取り出してください。**

2 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



3 ⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンを押して「編集」を選ぶ

ディスプレイに「編集」が表示されます。



4 再生ボタンを押す

編集画面が表示され、サムネイル(縮小画像一覧)と「削除」が表示されます。



5 ⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンを押して削除する画像を選ぶ

⇧ / ⇩ :前または次のページへ移動

⇦ **前へ**/⇨ **次へ** :前または次のファイルへ移動

6 再生ボタンを押す

削除確認画面(「削除しますか?」)が表示されます。



- 削除を中止するには、「いいえ」が選ばれているのを確認し、**再生**ボタンを押します。

7 ⇦ ボタンを押して「はい」を選び、再生ボタンを押す

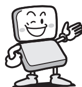
選択した画像を削除します。

ご注意

- **画像データを削除すると、取り消しできません。削除する画像をよく確認してから、再生ボタンを押してください。**

8 他の画像を削除する場合は、手順5〜7を繰り返す

- 削除を終える場合は、**メニュー**ボタンを押して編集画面を消します。



ちょっとこれを!

- SDカード内の画像データを削除することはできません。

編集

SDカードの音楽データを再生する

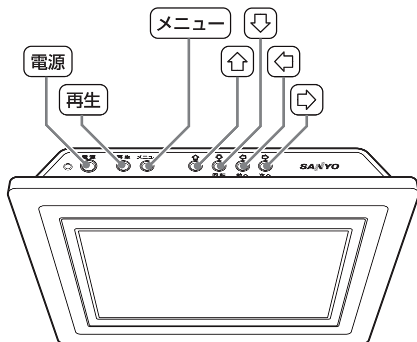
ＳＤカードに音楽データとして記録されているMP3形式の音楽ファイル（MP3ファイル）を再生することができます。

MP3ファイルについて

- ファイル構成により、MP3ファイルを読み取るのに1分以上かかる場合があります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と"_"（アンダースコア）、"－"（ハイフン）で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。（日本語は表示されません）
- 読み込み可能なファイル数は一つのフォルダーに最大648ファイルまで対応しています。ただし、読み込み可能なファイル数はライタソフトやデータの容量により異なることがあります。また、フォルダ構造によって全てのファイルが認識できない場合があります。
- 読み込み可能なフォルダー数は299までの対応です。300を超えるフォルダーは再生できない場合があります。
- SDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3のID3タグには対応していません。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。

<MP3>

- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps（固定または可変のビットレート）
- MPEGオーディオレイヤー3のみ対応しています。



SDカードの音楽データを再生する

この操作はSDカードの音楽データ（MP3ファイル）を再生するときの基本操作です。

1 **電源ボタンを押して電源を入れる** P10

ディスプレイにメニュー画面が表示されます。



- 本体メモリーに画像データが保存されている場合やSDカード（画像データ入り）が挿入されている場合は、数秒間メニュー画面を表示した後、自動的にスライドショー再生が始まります。そのときは、**メニュー**ボタンを押してメニュー画面を表示させてください。

2 **SDカードを入れる** P11

ディスプレイに「SD　写真」を表示した後、最初の画像から順にスライドショー再生します。

- 挿入したSDカード内に画像ファイルが無い場合は、「画像データがありません」と表示されます。手順 **4** へ進んでください。

3 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。



4 ⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンを押して「音楽」を選ぶ

ディスプレイに「SD　音楽」が表示されます。



5 再生ボタンを押す

ディスプレイにファイルブラウザ（ファイル/フォルダー一覧画面）が表示され、最初のフォルダーの音楽ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

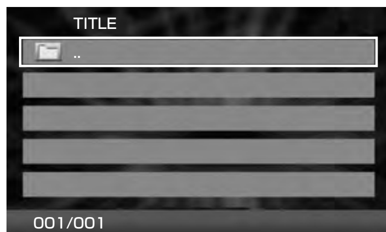
（例：）



音楽ファイル＋フォルダー数
ファイル番号

● 挿入したSDカード内にMP3形式の音楽ファイルが無い場合は、「001/001」と表示されます。ただし、SDカード内にJPEGフォルダーやその他のデータフォルダーがあれば、MP3形式の音楽ファイルが無くてもフォルダーが表示されます。MP3形式の音楽ファイルがあるSDカードに交換ください。

（例：）

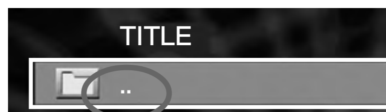


6 ⇧ / ⇩ ボタンを押して、再生したいファイルのあるフォルダーを選ぶ



音楽ファイル＋フォルダー数
ファイル番号

● ボタンを押すたびに、次または前のフォルダー、またはファイルへ移動します。
● フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択したあと、**再生**ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
● 「_ _」の表示されたフォルダーを選択したあと、**再生**ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。



音楽

SDカードの音楽データを再生する

7 ⇧ / ⇩ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

8 再生ボタンを押す

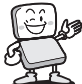
選択したファイルを再生したあと、以降の曲が順に再生されます。

- ディスプレイに「 ▶ 」が表示されます。



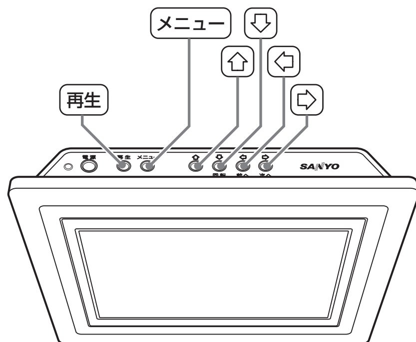
再生経過時間　再生総時間

- 同一フォルダー内の最後の音楽ファイルの再生が終わると、同一フォルダー内の最初の音楽ファイルに自動的に戻り、くり返し再生します。
- 再生中に ⇧ / ⇩ ボタンを押して、再生したいファイルまたはフォルダーを選び、**再生**ボタンを押して再生することができます。このとき、「_ _ 」の表示されたフォルダーを選択し、**再生**ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。



ちょっとこれを！

- SDカードにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合は、JPEG形式のファイルは表示されません。



一時停止する

再生中に、再生ボタンを押す

ディスプレイに「 ❚❚ 」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常の再生に戻すときは

もう一度**再生**ボタンを押します。

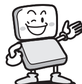
ファイルをとび越す/頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進むには

再生中に、 ⇨ **次へ**ボタンを押します。ディスプレイに「 ▶▶I 」が表示され、次のファイルの頭から再生します。

前のファイルへ戻るには

再生中に、 ⇦ **前へ**ボタンを押します。ディスプレイに「 I◀◀ 」が表示され、1つ前のファイルの頭から再生します。



ちょっとこれを！

- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し(スキップ)をすることができます。

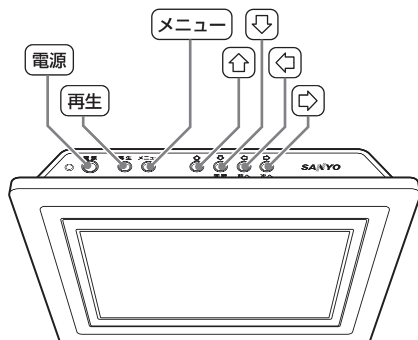
再生を止める

メニューボタンを押す

メニュー画面が表示され、再生中のファイルが停止します。

システム設定

つづく



システム設定画面では、本機にさまざまな設定ができます。

システム設定画面を表示する

1 電源ボタンを押して電源を入れる P10

ディスプレイにメニュー画面が表示されます。



- 本体メモリーに画像データが保存されている場合やSDカード(画像データ入り)が挿入されている場合は、数秒間メニュー画面を表示した後、自動的にスライドショー再生が始まります。そのときは、**メニュー**ボタンを押してメニュー画面を表示させてください。

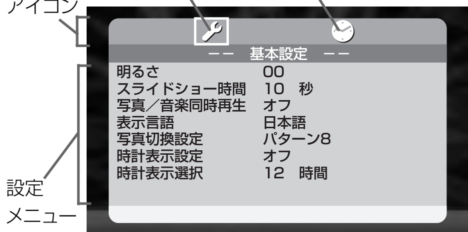
2 ⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンを押して「設定」を選ぶ

ディスプレイに「設定」が表示されます。



3 再生ボタンを押す

システム設定画面が表示されます。



4 ⇦ / ⇨ ボタンで設定したいページのアイコンを選び、再生ボタンを押す

選んだ設定ページに切り換わります。

- ⇩ ボタンを押して、選んだ設定ページに切り換えることもできます。

もう一度 ⇦ ボタンを押すと、手順 **3** に戻って選び直すことができます。

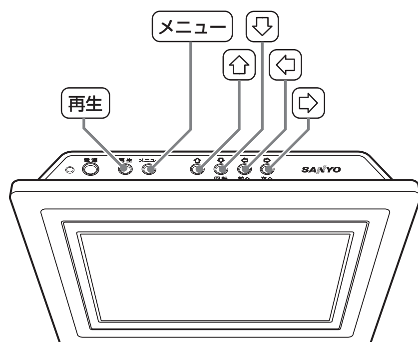
5 ⇧ / ⇩ ボタンで項目を選び、⇧ / ⇩ / ⇦ / ⇨ ボタンや再生ボタンを使って設定する

各設定項目は以下のページをご覧ください。

- 基本設定ページ P22
- 日時設定ページ P27

システム設定画面を消すには

メニューボタンを押します。

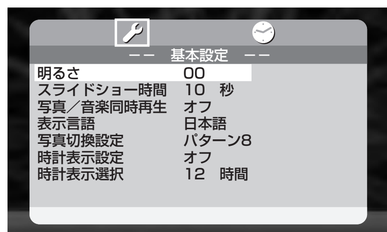


基本設定ページ

■ 明るさ

ディスプレイの明るさを設定します。

1 P21 **手順4で、「基本設定ページ」のアイコンを選び、再生ボタンを押す**



2 **⇧ / ⇩ ボタンを押して、設定メニューの「明るさ」を選ぶ**

3 **再生ボタンを押す**

設定メニューが選択され、明るさ調整画面が表示されます。



4 **⇦ / ⇨ ボタンを押して、明るさを調整する**

-20～+20の範囲で設定できます。

5 **再生ボタンを押して、設定を確定する**

選択した明るさに変更されます。

6 **メニューボタンを押す**

システム設定画面が消えます。

つづく

■ スライドショー時間

スライドショー再生時に画像が切り換わる時間を設定します。

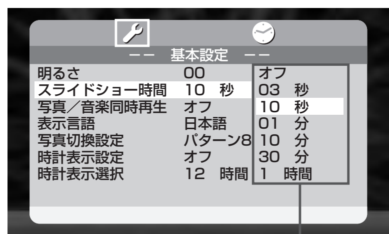
1 P21 **手順4で、「基本設定ページ」のアイコンを選び、再生ボタンを押す**

2 **⇧ / ⇩ ボタンを押して、設定メニューの「スライドショー時間」を選ぶ**

「スライドショー時間」が選択され、設定項目が表示されます。

3 **再生ボタンを押して、設定項目に選択を移動する**

設定項目が選択されます。



設定項目

4 **⇧ / ⇩ ボタンを押して、設定を選ぶ**

オフ、03秒、10秒、01分、10分、30分、1時間から選びます。

オフ:

同じ画像を常に表示し、スライドショー再生しません。

03秒、10秒、01分、10分、30分、1時間:

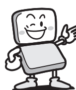
選択した時間で画像が切り換わり、スライドショー再生します。

5 **再生ボタンを押して、設定を確定する**

選択した設定に変更されます。

6 **メニューボタンを押す**

システム設定画面が消えます。



ちょっとこれを!

- 「オフ」を選択した場合は、画像表示中に ⇦ **前へ**/ ⇨ **次へ**ボタンを押して画像を切り換えることができます。P14
- 画像データのサイズにより、画像の切り換わる時間が設定した時間と異なる場合があります。

設定

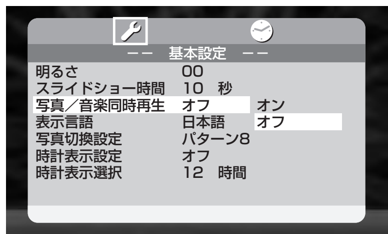
システム設定

■ 写真／音楽同時再生

SDカード内にMP3形式の音楽ファイルがあれは、SDカード内の画像データをスライドショー再生中に、同時に音楽を再生することができます。

スライドショー時間の手順1～6 P23 と同様に設定をおこないます。

オンまたはオフから選びます。

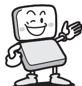


オン:

スライドショー再生中に、音楽を再生する。

オフ:

スライドショー再生中に、音楽を再生しない。



ちょっとこれを!

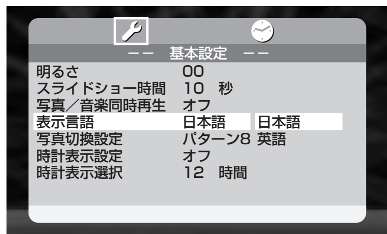
- 再生される音楽を選択することはできません。最初の音楽から順に再生されます。
- 本体メモリー内の画像データのスライドショー再生中は、同時再生はできません。

■ 表示言語

システム設定画面および、ディスプレイに表示される言語を設定します。

スライドショー時間の手順1～6 P23 と同様に設定をおこないます。

日本語または英語から選びます。



日本語:

本機の表示言語を、日本語に設定します。

英語:

本機の表示言語を、英語に設定します。

■ 写真切換設定

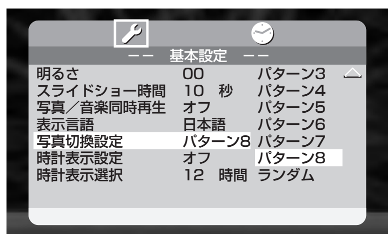
スライドショー再生の画像データの切り換えパターンを設定します。（SDカード内の画像データ再生時のみ）

ご注意

- 本体メモリーに保存されている画像データのスライドショー再生時は、切り換えパターンを設定しても変更されません。

スライドショー時間の手順1～6 P23 と同様に設定をおこないます。

パターン1～8またはランダムから選びます。



パターン1：
上から下に向かって切り換わります。

パターン2：
左上から右下に向かって切り換わります。

パターン3：
上下から中心に向かって切り換わります。

パターン4：
左右から中心に向かって切り換わります。

パターン5：
上から下に四分割で切り換わります。

パターン6：
左から右に四分割で切り換わります。

パターン7：
四隅から中心に向かって切り換わります。

パターン8：
画像全体がゆっくりと切り換わります。（フェード）

ランダム：
パターン1～8の切り換えパターンで、不規則に切り換わります。

■ 時計表示設定

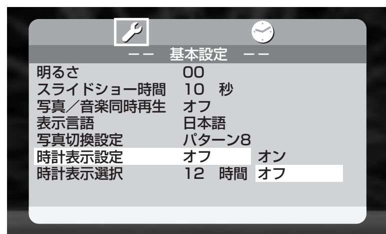
スライドショー再生中にディスプレイに日時を表示します。

ご注意

- 時計表示する場合は、あらかじめ日時を正しく設定しておいてください。P27、28

スライドショー時間の手順1～6 P23 と同様に設定をおこないます。

オンまたはオフから選びます。



オン：
スライドショー再生中に、日時を表示する。

オフ：
スライドショー再生中に、日時を表示しない。

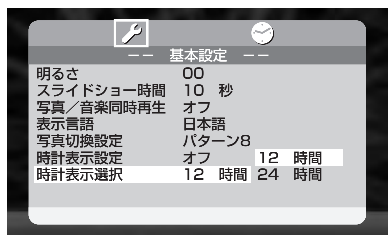
設定

■ 時計表示選択

ディスプレイに表示する時間表示の12時間/24時間を選択します。

スライドショー時間の手順1〜6 P23 と同様に設定をおこないます。

12時間または24時間から選びます。

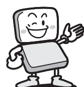


12時間：

12時間表示（「AM」または「PM」）で表示する。

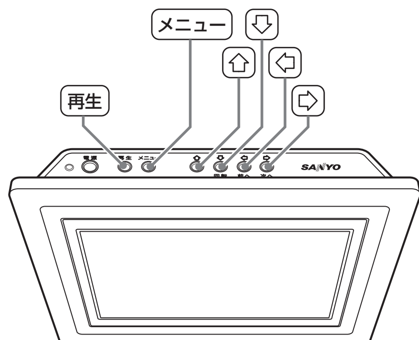
24時間：

24時間表示で表示する。



ちょっとこれを！

- 「12時間/24時間」を変更すると「日時設定ページ」の時間表示も切り換わります。P27〜30

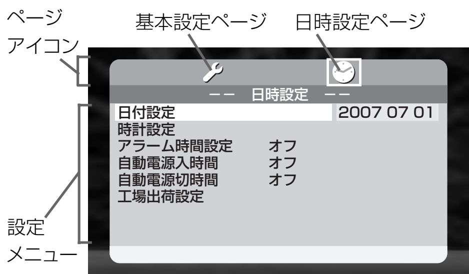


日時設定ページ

■ 日付設定

現在の日付を設定します。

1 **P21 手順4で、「日時設定ページ」のアイコンを選び、再生ボタンを押す**

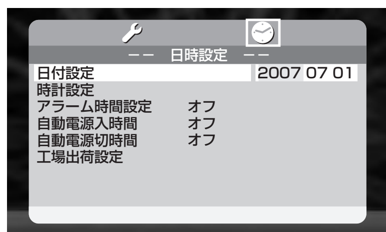


2 **⇧ / ⇩ ボタンを押して、設定メニューの「日付設定」を選ぶ**

「日付設定」が選択され、設定日付が表示されます。

3 **再生ボタンを押す**

設定項目が選択されます（「年（西暦）」表示が選択されています）。



4 **⇧ / ⇩ ボタンを押して、「年（西暦）」を設定する**

⇧ ボタンを押すと「年」が進み、⇩ ボタンを押すと「年」が戻ります。

5 **⇨ ボタンを押す**

「年（西暦）」が決定し、次の「月」表示が選択されます。

手順 4、5 と同様の操作で、「月」、「日」を設定します。

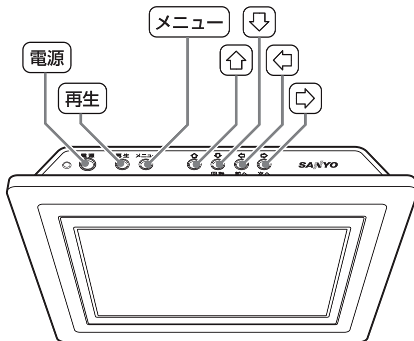
最後に「日」を設定した後、「再生」ボタン（設定の確定）を押してください。

- ⇦ または ⇨ ボタンを押して設定したい項目（年、月、日）を選択できます。ただし、「年（西暦）」選択中に ⇦ ボタン（設定から抜け出す）を押すと日時設定ページ選択画面に戻ります。

6 **メニューボタンを押す**

システム設定画面が消えます。

システム設定

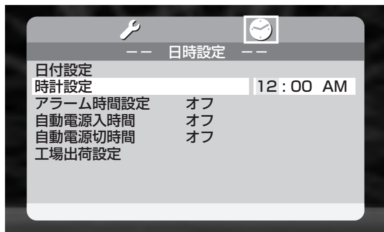


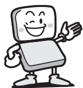
■ 時計設定

現在の時間を設定します。

日付設定の手順1～6 P27 と同様に設定をおこないます。

時、分、AM/PMを設定します。





ちょっとこれを！

- 「時計表示選択」 P26 で「24時間」を選択した場合は、「AM/PM」の設定はありません。
- 設定した時間を選んだ時点で、時計がスタートします。
- 長期間使用していると、時計表示内容がずれることがあります。そのときは、再度時計設定しなおしてください。
- 停電や電源アダプターを抜き差しした場合は、再度時計設定しなおしてください。

■ アラーム時間設定

指定時間にアラーム音を鳴らすことができます。

ご注意

- 「アラーム時間設定」をする場合は、あらかじめ時間を正しく設定しておいてください。左記

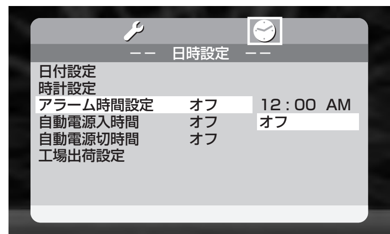
1 P21 **手順4で、「日時設定ページ」のアイコンを選び、再生ボタンを押す**

2 ⇧ / ⇩ ボタンを押して、設定メニューの「アラーム時間設定」を選ぶ

「アラーム時間設定」が選択され、設定項目が表示されます。

3 再生ボタンを押す

設定項目が選択されます。

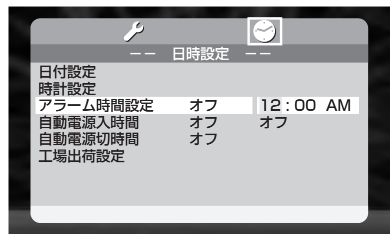


4 ⇧ ボタンを押して、アラーム時間を選択し、再生ボタンを押す

アラーム時間設定項目が選択されます。

5 もう一度、再生ボタンを押す

「時」表示が選択されます。



6 ⇧ / ⇩ ボタンを押して、時を設定する

⇧ ボタンを押すと時間が進み、⇩ ボタンを押すと時間が戻ります。

7 ⇨ ボタンを押す

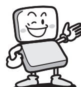
「時」が決定し、次の「分」表示が選択されます。
手順 6、7 と同様の操作で、「分」、「AM/PM」を設定します。
最後に「AM/PM」を設定した後、「再生」ボタン（設定の確定）を押してください。

- ⇦ または ⇨ ボタンを押して設定したい項目（時、分、AM/PM）を選択できます。ただし、「時」選択中に ⇦ ボタン（設定から抜け出す）を押すと日時設定ページ選択画面に戻ります。

8 メニューボタンを押す

システム設定画面が消えます。

- 指定時間になるとアラーム音が鳴り、ディスプレイに「⏰」が表示されます。スライドショー再生中は、スライドショー再生が停止します。
- 指定時間に電源が切れているときは、自動的に電源が入りアラーム音が鳴ります。
- アラーム音を止めるには、いずれかのボタンを押します。ただし、**電源**ボタンを押すと、電源が切れます。



ちょっとこれを！

- 「時計表示選択」 P26 で「24時間」を選択した場合は、「AM/PM」の設定はありません。
- 「オフ」に設定しない限り、毎日同じ動作をします。
- アラーム音の音量は調整できません。

■ 自動電源入時間

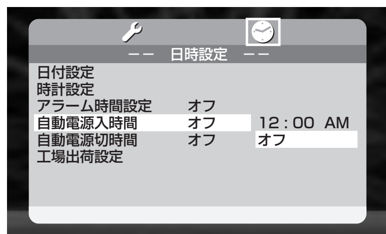
指定時間に電源が入り、自動的にスライドショー再生を開始することができます。

ご注意

- **「自動電源入時間」を設定した後は、電源ボタンを押して電源を切ってください。**
- 「自動電源入時間」を設定する場合は、あらかじめ時間を正しく設定しておいてください。 P28
- 画像データの入ったSDカードを挿入する P11 、または本体メモリーに画像データをコピー P15 しておいてください。

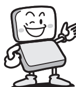
アラーム時間設定の手順1～8 P28、29 と同様に設定をおこないます。

時、分、AM/PMまたはオフを設定します。



時、分、AM/PM：
「自動電源入時間」を設定する場合に、時間を選択します。

オフ：
「自動電源入時間」をオフに設定します。



ちょっとこれを！

- 「時計表示選択」 P26 で「24時間」を選択した場合は、「AM/PM」の設定はありません。
- 「自動電源入時間」と「自動電源切時間」 P30 を組み合わせることにより、自動で電源を入れたり、切ったりすることができます。「オフ」に設定しない限り、毎日同じ動作をします。

設定

システム設定

■ 自動電源切時間

指定時間に自動的に電源を切ることができます。

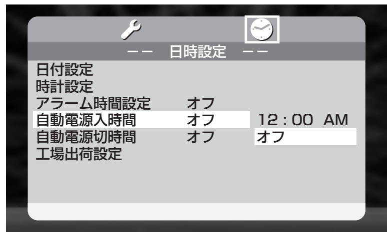
ご注意

- 「自動電源切時間」を設定する場合は、あらかじめ時間を正しく設定しておいてください。P28

アラーム時間設定の手順1〜8 P28、29 と同様に設定をおこないます。

時、分、AM/PMまたはオフを設定します。

- 指定時間になるとディスプレイに「自動的に電源を切ります」を表示した後、電源が切れます。

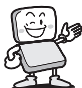


時、分、AM/PM：

「自動電源切時間」を設定する場合に、時間を選択します。

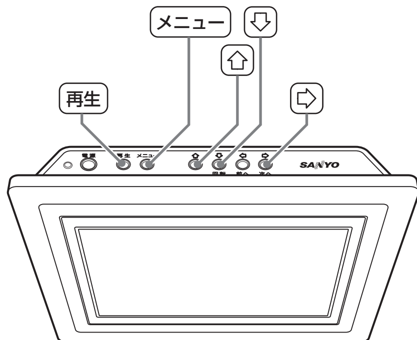
オフ：

「自動電源切時間」をオフに設定します。



ちょっとこれを！

- 「時計表示選択」P26 で「24時間」を選択した場合は、「AM/PM」の設定はありません。
- 「自動電源入時間」P29 と「自動電源切時間」を組み合わせることにより、自動で電源を入れたり、切ったりすることができます。「オフ」に設定しない限り、毎日同じ動作をします。



■ 工場出荷設定

設定した各システム設定の設定値を初期値（工場出荷時）の設定に戻します。

ご注意

- 設定した内容が全て初期化されますので慎重に操作してください。
- SDカードおよび本体メモリーは初期化されません。画像データは保存されています。

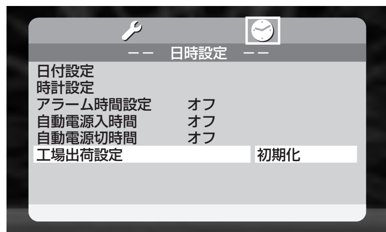
1 P21 **手順4で、「日時設定ページ」のアイコンを選び、再生ボタンを押す**

2 ⇧ / ⇩ ボタンを押して、設定メニューの「工場出荷設定」を選ぶ

「工場出荷設定」が選択され、「初期化」が表示されます。

3 ⇨ または再生ボタンを押す

「初期化」が選択されます。



4 再生ボタンを押す

システム設定画面が消え、メニュー画面に戻ります。



修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

全般（電源について）

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源アダプターが抜けている	コンセントに電源アダプターをしっかり差し込む	10
本機が正常に作動しない	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本機の電源を切り、電源アダプターを抜いて、約30秒経ってから差し込みなおして、電源を入れる	10

画像について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源を切にしたとき、ディスプレイにしばらく残像や横線があらわれる	液晶の特性によるものです	故障ではありません（数分間放置すると消えます）	−
再生される画像が粗い	画像データの解像度が低い	故障ではありません	−
JPEGファイルが再生できない	拡張子が「.jpeg」になっている	拡張子が「.jpg」のファイルを使う	12
	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うSDカードや記録状態の良いSDカードに交換する	12
画像の回りや上下あるいは左右に黒い帯があらわれる	画像データによるものです	故障ではありません	−

音声について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音声が出ない	音量が下がっている	音量を調節する	10
デジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	−
音声が途切れる	電気雑音の発生しやすいところで使用している	設置場所を変えてみる	−
MP3のSDカードが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うSDカードや記録状態の良いSDカードに交換する	18

故障？　その前にちょっとこれを！

再生について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
再生が始まらない（または、すぐに停止する）	SDカードが入っていない（「画像データがありません」を表示）	SDカードを入れる、または本体メモリーに画像データをコピーする	11、15
	本機で再生できないSDカードが入っている（「画像データがありません」を表示）	再生できるSDカードの種類を確認する	8
	システム設定画面が表示されている	**メニュー**ボタンを押して画面表示を消す	21
	SDカードに読み込みできない記録データが入っている	読み込みのできる記録データが入っているか確認する	12、18
	再生しようとしているフォルダー数が300を超えている	再生するフォルダー数が299以下のものに取り替える	12、18
画像が切り換わらない	複数の画像データが入っていない	複数の画像データが入っているか確認する	–
	「スライドショー時間」が「オフ」に設定されている	「スライドショー時間」を設定する	23
MP3のSDカードが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うSDカードや記録状態の良いSDカードに交換する	18
MP3のSDカードで読み込み時間がかかりすぎる	入力されているファイル名が長すぎていたり、ファイル構成による場合がある	故障ではありません	18
JPEGファイルが再生できない	拡張子が「.jpeg」になっている	拡張子が「.jpg」のファイルを使う	12
	対応フォーマットまたは条件が合っていない、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うSDカードや記録状態の良いSDカードに交換する	12

お願い

表示や動作に異常が生じたときは、本体の**電源**ボタンで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
それでもなおらない場合は、電源を切って電源アダプターを抜き、30秒後もう一度差し込んで操作しなおしてください。
（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

仕　様

本体部	
電源	AC 100V～240V 50/60 Hz (電源アダプター使用、コード長約1.7m)
消費電力	7.5W（待機消費電力　0.2W）
質量	約450g （本体のみ）
外形寸法	219（幅） ×165（高さ） × 30（奥行）mm
スピーカー	28mm　円形（16 Ω）×2
実用最大出力	0.2W＋0.2W
使用条件	温度：5℃～35℃
端子部	
DC入力	DC 9V　1A
ヘッドホン	適合インピーダンス32 Ω×1（ミニピンジャック）
液晶画面部	
型	7V型
画面サイズ	152（幅）×91（高さ）×177（対角）mm
表示方式	透過型TFTカラー液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	1,152,000（横800×縦480×3（RGB））（有効画素率99.99%以上）
視野角*	左右 140度、上下100度
使用光源	内部光（蛍光管内蔵）

付属品

電源アダプター（コード長約1.7m）......... 1

本書（取扱説明書・保証書付）.................... 1

＊ 視野角はあくまでも目安です。

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

参考

保証書とアフターサービス

保証書[裏表紙にあります]について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、「無料修理規定」 P39 をよくお読みください。

修理サービスについて

ご使用中に本機の調子が悪くなったときは「故障?その前にちょっとこれを!」 P31、32 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中の修理は
  保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

デジタルフォトフレームの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「お客さまご相談窓口」 P35～38 にお問い合わせください。

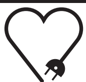
- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合には、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

必ずお読みください

本機を使用中、万一不具合により再生されなかった場合、再生されなかったことによる損失の補償、または本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。

アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください

① **品番:** LVT-PF70
② **症状:** できるだけ詳しく



長年ご使用の機器の点検を !

このような症状はありませんか?

- 電源アダプターやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源アダプターに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客さまご相談窓口



■ まずはお買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電商品についての全般的なご相談 <三洋電機株式会社 お客さまセンター>

受付時間：（365 日）9:00 ～ 18:30

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は**大阪(06)-6994-9570**におかけください。
※ 郵便またはFAXでご相談される場合
三洋電機株式会社 お客さまセンター　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX:大阪(06)-6994-9510

家電商品の修理サービスについてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日　～　金曜日　9:00 ～18:30
土曜・日曜・祝日・当社休日　9:00 ～17:30

修理相談窓口	東コールセンター	関東・甲信越地区	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	050-3116-2333
		東北地区	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿・北陸・四国地区	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	050-3116-2666
		中国地区	050-3116-2777
		九州地区	050-3116-2888

沖縄地区	098-944-5018

（※）沖縄地区の受付時間:月曜日～土曜日　9:00 ～12:00、13:00 ～17:30
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談 <三洋電機サービス株式会社>

受付時間：月曜日～土曜日　9:00 ～17:30（日曜、祝日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。

■ 上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

< 利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問い合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

< 業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細はホームページ http://www.sanyo.co.jp をご覧ください。

持込み修理および部品についてのご相談　　三洋電機サービス株式会社

北 海 道 地 区				
北海道	札幌サービスセンター	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
	旭川サービスステーション	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
	函館サービスステーション	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
	釧路サービスステーション	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
	北見サービスステーション	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
東 北 地 区				
青森県	青森サービスステーション	(017)729-3401	〒030-0141	青森市上野字山辺29-5
岩手県	盛岡サービスセンター	(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
宮城県	仙台サービスセンター	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
秋田県	秋田サービスステーション	(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
山形県	山形サービスステーション	(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
福島県	郡山サービスステーション	(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120

つづく

関東・甲信越地区

茨城県	水戸サービスステーション	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
	つくばサービスステーション	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
栃木県	宇都宮サービスステーション	(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
群馬県	伊勢崎サービスステーション	(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
埼玉県	さいたまサービスセンター	(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
	坂戸サービスステーション	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
千葉県	千葉サービスセンター	(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
	鎌ヶ谷サービスステーション	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
東京都	武蔵野サービスセンター	(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
	城東サービスステーション	(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
	城北サービスステーション	(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ)1-23-10
	城西サービスステーション	(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3-12-12 テック杉並
	相模原サービスステーション	(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
神奈川県	横浜サービスセンター	(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
新潟県	新潟サービスセンター	(025)285-2431	〒950-0942	新潟市中央区小張木2-16-43
山梨県	甲府サービスステーション	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23

中部・北陸地区

富山県	富山サービスステーション	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
石川県	金沢サービスセンター	(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
福井県	福井サービスステーション	(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
長野県	松本サービスステーション	(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
岐阜県	岐阜サービスステーション	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静岡県	静岡サービスセンター	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
	沼津サービスステーション	(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
	浜松サービスステーション	(053)461-8685	〒430-0812	浜松市南区本郷町123
愛知県	名古屋サービスセンター	(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
三重県	津サービスステーション	(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2

近畿地区

滋賀県	滋賀サービスステーション	(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4-1-24 南井産業第3ビルB棟
京都府	京都サービスセンター	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
大阪府	大阪サービスセンター	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南サービスステーション	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
	阪和サービスステーション	(072)221-8571	〒590-0026	堺市堺区向陵西町2-1-24
兵庫県	神戸サービスセンター	(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
	阪神サービスステーション	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	姫路サービスステーション	(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
	淡路サービスステーション	(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1
奈良県	奈良サービスステーション	(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
和歌山県	和歌山サービスステーション	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1

お客さまご相談窓口

中 国 地 区

鳥取県	鳥取サービスステーション	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
島根県	松江サービスステーション	(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
岡山県	岡山サービスセンター	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
広島県	広島サービスセンター	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
	福山サービスステーション	(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
山口県	山口サービスステーション	(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6

四 国 地 区

徳島県	徳島サービスステーション	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町 笹木野字八北開拓189-1
香川県	高松サービスセンター	(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町字片田1657-1
愛媛県	松山サービスステーション	(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274
高知県	高知サービスステーション	(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12

九 州 地 区

福岡県	福岡サービスセンター	(092)928-3414	〒818-0061	筑紫野市紫6-1-1
	北九州サービスステーション	(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
長崎県	長崎サービスステーション	(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
熊本県	熊本サービスセンター	(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3-2-11 熊本トラックターミナル内
大分県	大分サービスステーション	(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
宮崎県	宮崎サービスステーション	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
鹿児島県	鹿児島サービスステーション	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖 縄 地 区

沖縄県	沖縄三洋販売株式会社 サービス部	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303

(010407J)

☆ 住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   へ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」P34 をご覧ください。

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は、下記の「総合相談窓口」へお問い合わせください。

相談受付時間
（365日）9:00〜18:30
総合相談窓口
050-3116-3434
※ 上記番号をご利用できない場合は、
大阪(06)6994-9570におかけください。

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または35〜38ページのお客さま修理相談窓口にお問い合わせください。

891T420020G--
（JP1）

三洋電機株式会社
オートモーティブカンパニー
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号